

AJU 愛光園だより

～私たちは、誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざします～



編集者:社会福祉法人 愛光園 企画総務部
愛知県知多郡東浦町緒川東米田33番3
TEL 0562-83-9835 FAX 0562-83-4344
URL <http://www.aikouen.jp/> E-mail honbu@aikouen.jp

第170号

「新しい年のはじまりに」

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は社会福祉法人愛光園に格別のご厚情を賜り、改めて御礼を申し上げます。本年も引き続きご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

愛光園は昭和48年(1973年)に社会福祉法人として認可設立され、名古屋市にほど近い大府市、東浦町、阿久比町などの知多北部圏域を中心に障がい者福祉、高齢者福祉の分野での事業展開、サービス提供を半世紀に渡り進めて参りました。今日に至るまで経営的な事業戦略が前提ではなく、目の前に支援や介護を必要する方がいたからこそ立ち上げた施設や拠点を開設してきました。法人化の前に無認可であった事業が根源にあり、その後も制度に拠らない支援の仕組みづくりに挑戦してきました。まさに地域福祉のフロンティア・開拓者であったと思います。

気が付けば50年前には発想すらない障がい福祉サービスの新しい類型や、介護保険制度による介護サービスのメニューが整えられました。生活に困難を抱える人を支え、住み慣れた地域社会で普通の暮らしを維持するための仕組みは随分充実したように感じます。一つの施設や事業所では支えきれないことでも、他の事業者や関係先との連携で問題解決できる方法も増えてきました。それでも私たちができないと諦めてしまうと、先に進めなくなる難題も未だ残されています。特に担い手をどうやって募り、どう支えていくのかが大きな課題となっています。

愛光園の50年を振り返ると、創設者である皿井壽子とその協力者の方々と、時には財政面で、別の場面ではボランティアとしてご支援をいただいた多くの方々に対しては、感謝の思いが尽きません。この感謝の思いを表す場として、2月15日(土)にあいち健康の森プラザホールにて、式典を開催する運びとなりました。奇跡的とも思えるつながりが紡ぐ半世紀を顧みること未来を展望する機会と致したく、多くの皆様のご参集を願っています。

誰もがひとり一人の個性と思いを認められ、お互いに尊重し合える地域共生社会の実現を願い、これまでの歩みを振り返り、これからの愛光園を共に語り合ひましょう。

令和7年 新春に

社会福祉法人愛光園 理事長 日高 啓治

今年の抱負

漢字 1 文字 に込めました!



ひかりのさとどのぞみの家



私たちを取り巻く社会や環境の変化、住人さんの重度化高齢化も年々加速する中、昨年「心温かきは万能なり」という言葉に出会いました。何があってもどんな時でも、住人さんの中「心」に。そして新しい年も、みんなの温かい心を結集してのぞみの家らしく歩んでいきたいと思えます。(事業所長 倉科 由加子)

まどか



まどかでは数年後に控えている建替えに向けた準備が本格的に始まります。利用者の特性や性格に焦点を当てた一人ひとりの居室とは。利用者・職員共に負担の少ない感染症対策が行える住環境とは。介助負担軽減・支援の動線にも配慮した職員の働きやすい環境とは。これらの両立を目指して新しい環境と支援を構想していきます。(施設長 東 悟)

阿久比町立もちの木園



みんなが想い続けてきた夢や願いが少しずつ叶いつつあります。自立した生活を始めたり、自分で稼いだお金で好きな物を手に入れたり、自分の気持ちを上手に伝えられるようになったりと、その可能性は底知れません。新たな年を迎えるにあたり、まだ叶わぬ夢や願いが実現するようエールを込めて選びました。(事業所長 堀田 学)

愛光園地域居住サポートセンター



この漢字には「かなでる」「たのしむ」「よろこぶ」「このむ」「ねがう」「求める」といった意味があります。また「樂」でなく「樂」という旧字体にしたのは、「古きを知り、新しきを楽しむ」ことができるように、という思いを込めました。これまでの歴史をふまえた上で、新しいことへのチャレンジを楽しむことができるような1年にしていきたいです。(事業所長 小野 嘉久)

ひかりのさとファーム



展は、伸ばし広げるという意味をもっています。ひかりのさとファームの将来にどんな可能性があるか、これからの方向性の展望を描き、仲間が持てる力を発揮して働くことや商品通じて地域に向けて展開していきます。仲間と共に、地域とともに発展していけるよう取り組んでいきたいと思えます。(事業所長 血井常之)

大府市発達支援センターおひさま



冬の寒さにも負けない元気いっぱいな子どもたち。「楽しい!」「ワクワクする!」の気持ちが一番の脳への栄養素。すると自然に笑顔が弾けます。その笑顔に親御さんや職員の笑顔も弾けます。ポジティブな気持ちの連鎖が続く年になりますように!

(センター長 東 千恵子)

高齢福祉事業部 在宅支援グループ

復



世の中では、コロナ関係は落ち着いてきましたが、高齢在宅部門ではコロナ禍以降、なかなか利用率回復ができていません。まず目指したいところがコロナ禍以前の利用率への回復。コロナ禍において、制限・休止していたことも対策をしっかりとしながら少しずつ復活へ。時代がどんどん変わっていく中で、だからこそ今一度、原点復帰を考える。そんな1年にしたいと考えています。
(グループ長 山本 茂男)

知多地域障害者生活支援センターらいふ

進



らいふ相談支援事業では、昨年度からの継続課題である基幹相談の来年度以降の役割を明確化する東浦・阿久比両町と基幹相談の在り方を検討し、愛光園だけではなく、地域で支える体制の構築を『進』めていく重要な年、また、らいふ地域生活支援事業においても、安定的なサービス提供のため、居宅介護・レスパイトサービス・放課後等デイサービスの事業整理を『進』めていく重要な年であるため、【進】にしました。
(事業所長 辻 孝志)

老人保健施設 相生

尽



今年、相生は大規模修繕と見守りシステム導入を予定しています。何よりもご利用者の快適な暮らしと安心安全、職員の働きやすさの為。ご利用者、職員の為に尽くすという思いを込めて、私の一文字は「尽」にしました。尽きるというネガティブな印象もありますが、尽きることがない様に日々インプット(自己研鑽)を欠かさないという自戒も込めて。
(事務長 杉浦 修孝)

障がい者活動センター愛光園

紡



『紡ぐ』には、つなぐ、通わせるという意味があり、心を紡ぐ、想いを紡ぐ、人を紡ぐなどの言い回しがあります。世の中が混とんとしてきている今、人と人をつないで、心・想いを通わせる。こんな風になっていけることを願っています。

(事業所長 松澤 賢治)

地域生活支援センターりんく

越



りんくでは、昨年度に比べスタッフが大幅に減った状況ですが、現場のスタッフはホームや在宅での暮らしを守っていきたいという思いで、日々頑張りを続けてくれています。今後はさらに仲間の高齢化による支援増や、ご家族の高齢化による宿泊増の対応も必要になってきます。センター長として人員体制の整備に全力を注ぎ、皆で知恵と力を出し合って職場環境の改善に取り組み、この難局をなんとか乗り越えていきたいと思っています。応援いただけますようよろしくお願いいたします。
(センター長 清水 晶)

就職トレーニングセンター

聴



ご利用者、ご家族、地域、職員同士、それぞれの価値観があるからこそ、お互いの想いを聴きあい、より良くするための糧にしていくことができたなら今よりもっと良い事業所に、働きやすい社会づくりに結び付くのではないかと思います。今年、漢字を『聴』にしました。その結果、ご利用者も職員も増えてくれるといいな…と思っています。

(副事業所長 青木 剛志)

「NHK障害福祉賞」受賞おめでとうございます!

倉科由加子さん(ひかりのさとのおもひの家施設長)が、「NHK障害福祉賞」の最優秀賞を受賞し、都内で開かれた贈呈式に参加された様子がテレビニュースでも放送されました。以下は、NHK NEWS WEBからの転載です。

～「NHK障害福祉賞」は、障害のある人やその家族、支援する人たちの体験や活動を広く知ってもらおうと、NHK厚生文化事業団などが設けています。59回目となることは、462の作品の中から9作品が入選し、最優秀賞には愛知県の倉科由加子さん(61)の「千代子さんと私」が選ばれました。作品では倉科さんが入所施設で働き始めたころに出会った、重い障害のある千代子さんとの日々が記されています。千代子さんが亡くなるまで支え続けた日々の様子や、多くの人に慕われていた千代子さんのようになりたいと憧れる倉科さんの思いが伝わっています。倉科さんは「千代子さんから学んだことは、重い障害があっても助けられたり支えられたりするだけの存在ではなく、むしろ、たくさんの人を支えたり、笑顔にしたりしてくれることでした。千代子さんのようにはいきませんが、この仕事を続けてきてよかったです」と話していました。～

NHKオンラインニュース(2024年12月10日 16時34分放送)より

『愛フェス』2024は残念! 次回に向けて!

ひかりのさと地域交流委員会

委員長 松澤 賢治

第2回『愛フェス2024』に向けて4月から地域交流委員会で準備をしてきましたが、天候が悪く雨模様でしたので中止となってしまいました。第1回目(2023年)の反省(ステージのマイクの音が飲食コーナーまで聞こえなかったなどを活かし、ステージの位置をファームの前に持ってくるなど、ステージ、模擬店、ゲームコーナーが一つの円になり、イベント全体が一体感が持てるような雰囲気になればと思いついて計画をしていましたが、開催できずとても残念です。今年度に持ち越しです。2024年は11月3日が日曜日でしたので、準備等の関係で11月2日に変更をしました。それが余りよくなかったのかもしれませんが。3日は晴れましたから…。ひかりのさとバザーの時代から開催日は11月3日と決まっています、その日は晴れの特異日と言われているので、次回からは開催日を変更せず、11月3日で予定していきたいと思えます。開催できることを願っています。

おしらせ

毎年2月に開催しております「実践発表会」ですが、今回は「法人設立50周年記念式典」を開催しますため中止となりました。なお、式典については、別紙のとおりご案内申し上げます。

ひがしうら作品展

2024年12月3日～7日 東浦町福祉センターにて開催



まどか



ファーム



愛光園



のぞみ

東浦町社会福祉協議会さま
お写真のご提供ありがとうございました!

ひかりのさと アクセスマップ



- ▶ JR東海道線大府駅下車、タクシー(15分)が便利です
- ▶ 東浦町営バス(うらら)停留所「相生の丘」から徒歩2～5分

